

1. 件名：「大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（3号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（20）」

2. 日時：令和3年8月31日（火） 13時30分～14時55分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門

戸ヶ崎安全規制調整官、塚部管理官補佐※、宮嶋安全審査官、

藤川安全審査官※、宮本安全審査専門職

長官官房技術基盤グループ

地震・津波研究部門

日高主任技術研究調査官、鈴木技術参与、土居技術参与

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る資料およびヒアリングスケジュール案
- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表（概要説明）
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（耐震安全性評価） 補足説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の宮本です。
0:00:06	ではこれから大飯発電所 3 号炉高経年化技術評価 30 年目に係る保安規定変更認可申請に係るヒアリングを始めます。今日は海進
0:00:18	関連ということで、8 月 5 日の経年化の審査会合
0:00:24	質問のあった件、あとコメント反映整理表に基づきましてまだ回答いただけないもの、回答確認できないもの、これを人ご説明いただきたいと思っております。
0:00:39	では、当関西電力の方から説明をお願いいたします。
0:00:45	はい、関西電力のキタニでございます。
0:00:48	そうしましたら審査会合でいただいたコメントとしてこれ、こちらコメント反映燃料の採用の方につけてございますので、三十二、三十 334 から始めさせていただきます。
0:01:01	まず 32 年けれども、標準応答スペクトルの扱い等FM位置の応答スペクトルの比較とか、
0:01:11	FF幾つとあまりふえスペックとの比較を、
0:01:15	御説明資料に追記不良にコメントいただきました。喋んさばくおられる去年上半ページ、こちら下線部でPRAコラボ東端の 3 分の 1 と 3 分の 2 本 1 枚増えたので、ドイ価値でございます。
0:01:30	メインは 16 ページにありますように、ここに不スペクトルを大きく下降載せてございます水平鉛直がたまれ船この赤いのが、標準応答スペクトルで基準地震動FF1 を上回っていますということをCOMNS示してございます。
0:01:50	この上に文章ですねの約その標準応答スペクトルっていうのは、規制庁反応に報告してございまして、その方発信文書等を記してございまして、
0:02:04	この図に示す通りFS案を超えることがないので、基準地震動の
0:02:11	修正は助勢はなかったということを追記してございます。
0:02:17	32、2 番については以上です。
0:02:21	そのまま 1 回の止めたほうがよろしいでしょうか。
0:02:29	ミヤモトでセトをまずはさん。
0:02:32	三十二、三十 3、34、これすべて等としていただいて説明いただけますか。
0:02:40	わかりました完売電力キタニです。そうしましたらアプリのファン 13 番に行きますとこちらで主蒸気逃がし弁の動的機能維持の詳細評価をしているもので押して説明していたんですけども、ヨークとかボンネット等の共同評価ですね、その詳細評価を用いるときも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:01	ちょうど評価の詳細が所報告説明資料に内のでVB振ることというコメントをいただいています。
0:03:09	それに対して、十分。
0:03:12	15-7、3 ページをご覧ください。
0:03:22	こちらは 15-3 ページの下の部分ですけれども、
0:03:27	こちらで水平も普通の一方向の
0:03:32	べくけども、強度評価ですね、
0:03:38	各コードを、11 時のが 7 ページの 3 事例比較する場合に、必要となる強度評価の結果というのを表われ追記してございます。
0:03:51	構造強度評価結果については以下の通りということで主蒸気逃がし弁都市給付以下クレーン船バレーですね、必要となる配管反力こちらは、弁から受ける配管がはい反力ですね、そちらの実行力と曲げモーメントとねじりモーメントが、
0:04:09	許容値を下回ってることを示しています。
0:04:12	それともう一つは弁の構造強度でございますが、こちらもこれは発生応力としてMPaで許容値に対して発生応力が小さいということをそれぞれ主蒸気逃がし弁都市給水隔離弁に対して、
0:04:29	失敗してございます。
0:04:34	今は 15 のポリプロ 20 同じように、15 の
0:04:43	上位についてDFが、こちらで水平 2 方向のほうで、こちらは主蒸気逃がし弁投げ水平 2 方向の評価をしてございまして、こちらで、
0:04:55	同じように強度評価をしてございます。
0:05:03	これいっぱい下線を引いてますけども今回の今の質問に対する回答というのは一番下の同じような応力の否定と評価のところでは主蒸気逃がし弁に際して配管反力と構造強度ですね、こちらに方向を考慮した発生応力に対しても発生値に対して、
0:05:23	公共用地がのほうが大きいことを示してございます。
0:05:28	以上が 30、三番の回答です。
0:05:33	続きまして 34 番になりますけれども、
0:05:38	こちら報告説明資料上呼んで監視、津浪監視カメラの海水ポンプ室の幾何ボルトの腐食の評価を示しますけども、いただいたコメントがとびあの許容応力を 4FではなくてⅢASとしていることと、
0:05:55	あと発生応力のほうも亀果樹の統合の影響も加味されているということで、
0:06:04	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:05	ドイドイキしてるほぼ補正予定補正予定のか、ケミカルアンカーのM35の評価結果の応力比、こちら 4Fを使用しているということで、単純に比較できないという
0:06:20	低については各説明資料で取引振ることといただいています。以上 4 ページの常陽の 18 ページ。
0:06:29	をご覧ください。
0:06:36	こちらがですね、
0:06:40	評価結果あこれも動かされた生の別府のコメントいただいとちょっと重なってきてしまっているんで不けども。
0:06:51	ちょっと一緒にそこは実装にやっておる患者と 20 コメント 20 と 20、20-1 と 2 以上の 2 と。
0:07:01	重なっているんで、一緒に回答させていただいてよろしいでしょうか。
0:07:12	検査
0:07:13	はい。はい、お願いします。
0:07:17	はい。今ペアの間パネルのキタニです。ちょっとPHEBUS-20-1 と 2 条 2 の※コメント内容もご説明させていただきますが、
0:07:28	20-1 は特にないんです 20-2 のほうですが、こちらが出れば海外IR家屋がある津波監視カメラ海水ポンプ室に吹いてボルトの減肉を考慮した発生応力の算出過程を示すことというコメントをいただいてまして。
0:07:45	これに対してですね土壌 4-17 ページから、こちらが、
0:07:51	その算出過程を示したものでございます。
0:07:55	こちらNFが弁閉止ヒアリングのときに御説明しましたが、これ前駆 4601 で表の企画建販ではなくて、FDMでよね三次元のはりモデルを組んで評価工認側で指定を行います。
0:08:14	その工認側の結果を使ってF、今回、高経年の評価はしているということをやちょっと概略を示したものでございます。
0:08:24	えっと常陽の 17 ページの下に示して日津波監視カメラの海水ポンプ室はこういった
0:08:32	三次元のはりモデルを込んでございます。
0:08:36	評価の内部流れをフローで示してございまして、こちら公認のところからですね今回の対象等の基礎ボルトの評価に関係するようなところをちょっと抜粋して書いたものでございます。
0:08:50	抱えてます通り改定杭モデルを徹底してよ減要素モデルを発生して左側ですねこういう近い併記を行って。地震応答解析のスペクトルモーダル解析を行います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:03	これパワー指定右側ですの事情に対してはちょっと適正部下ジョグ国外でごとでの堰結果両方考慮しているのと、あと壁荷重を考慮して閉会定義を行いまして地震等をいっぱい別府の荷重を
0:09:19	を加えて、利かボルトに生じる応力を算出してございます。
0:09:26	フォローの上のほうの文章は具体的にここの3社公認の番号とかを書いてございます。
0:09:35	そいで付議のページの上4-18でございますが、こちらはですね結局運営応力ですね、ボルトに発生する応力っていうのを表2の示します通り、工認値に対して、
0:09:51	減肉補の断面積本の減肉前の断面積を乗じまして、現に前減肉をということで減肉前な工認値になってます。現に5が合計値の評価ということで、
0:10:06	どちらの過程を示しているものでございます。
0:10:12	ほんで愛情が20-2、アイフル回答でしたが、
0:10:17	先ほどの30を4の
0:10:21	配当ということの2/3事業に対しましてはですね、
0:10:29	十八番。
0:10:31	文章のですね、4行目なおからをご覧ください。
0:10:39	34万88ページのなお4行目のなおからですが、耐震安全性評価のケミカルアンカーの職員に対する評価結果に対する最大許容荷重、これはですねちょうど隣の14-19ページに、
0:10:55	ありますようなケミカルアンカーのあの評価書に書いてる最大許容荷重
0:11:01	船、こちらは
0:11:06	最大共助許容荷重についてはボルトにかかるTHAI評価時に考慮すべき弁過剰に対する評価上ですので、屋外扉ある本評価の場合は地震荷重のみではなく、風荷重や積雪による過剰も
0:11:24	込めて、この共用過剰以内になるように並行してございます。
0:11:29	またですね減肉後の応力比については大京会場を減肉後のボルト断面積で除して求めた最大協力とFs地震による耐震評価にプール上用いられている許容応力状態IV4Fの許容値
0:11:47	その費用とやっぱものこれが通常の右側のケミカルアンカーの評価結果の減肉後の応力比、こちらに書かれた許容値は4Fの許容値で割ったものとしてございます。
0:12:02	ただ前回コメントいただいたように津浪監視カメラに関しましてはですね、表4、表2の※2に示しましたけども、許容力は、基準地震動FFによる地震力が作用した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:18	後においても、カメラ本体による津波監視機能維持フルスペック系ということから安全側にですね許容応力状態を 3Fで評価してございます。
0:12:29	従いましてとった上に戻りますと表 2 に指名する評価結果に締めと応力比というのは、及び許容応力状態を保守的に退院として算出した値であるということで、ちょっと特別な評価になってまして応力比も、
0:12:49	単純には常用の 19 の一般的な応力比と比較で最初にはないということを追記してございます。
0:12:59	以上です。
0:13:04	はい、ありがと規制庁ミヤモトですありがとうございます。
0:13:08	最初の表示No.30 の標準応答スペクトル、
0:13:12	のところ、
0:13:14	13 ページと 16 ページのところ、
0:13:19	同会合では、
0:13:25	そのところの補足説明資料 2 っていうところだったんですけど、これは、
0:13:28	よろしいですか。はい、はい。こちらについては質問者管のほうからも、これでわかりましたということですので、はい。
0:13:36	これではい。
0:13:39	理解しました。で、No.33ー
0:13:43	主蒸気逃し弁の動的機能維持のところ、強度評価ですね周辺構造強度評価
0:13:51	したところっていうのが集合の
0:13:58	いうかな。
0:14:00	それぞれあるんですが、これはずっと
0:14:04	ニース加配こちら問題ないということではい、わかりました。次 34 番の津浪監視海水ポンプ室の津波監視カメラのところでの
0:14:16	許容力状態が違うということで、単純比較できないって話が
0:14:23	介護だったかと思いますが、
0:14:26	ディーラーは
0:14:29	すみません、ちょっと確認なんですけども規制庁ミヤモトです確認なんですけども、時イオンの
0:14:36	ところが、
0:14:38	14ー9 の表なのですが、
0:14:44	この記載方針っていうところですね、金融機関からの腐食に対して記載方針、これについては特にその何といいますか、その許容力状態が違うとかっていうところものところは特に示さなくても、これで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:01	いいんじゃないかっていう考えでよろしいでしょうかいわゆる補足説明資料のほうにその辺の
0:15:08	条件の差異というのを補強をされましたけども、
0:15:12	もともとはっていうと、いやこの表で一体的にこうぱっと出たときに、そういう評価条件の違いというものも一緒に何かごっちゃになって一つの表にまとめられた国家読まないかっていうような話もちよっとあったんじゃないかなと思ってまして、
0:15:30	スズキこの辺どうですかね。
0:15:40	規制庁の鈴木です。今ですねミヤモトさんから話がありましたように、54-19 ページのところっていうのは、
0:15:50	津波監視カメラの唯一の共通点のM36 っていうだけで評価条件とかは違う別物なんですよ、ここの 14-19 ページの従来の耐震評価のやり方で比率に
0:16:05	被災したということですから当然ここはみんな継続状態IVASという、かつ屋内にあった場合はこうなるよっていう
0:16:15	今日県であって、それと実際の津波監視カメラの評価は別物というふうに理解しますけども、それでよろしいですか。
0:16:26	関西電力のキタニでございますが、先ほどの 14-18 でも説明いたしましたけれども、最大許容荷重に関しましてはですね
0:16:38	隻FEPがあれば、実機予期壁が考慮市況があれば風の荷重も含めてボルトにかかる最大荷重をこれ以下に振るということで、最大雇用過剰に関しましては屋内だろうが屋外だろうが、
0:16:53	これはほぼ同じものになります。ただ右側のデフレ減肉後の応力比っていうのがときは、最大許容荷重を許容力で割ってございまして、この許容力が、
0:17:07	一般的に使われる 4Fでも通して書いています。これまでもたまたまあの今回の海水をカメラで監視カメラが 3Fでやっているの、協力をした応力の算出時の協力がちょっと違ってプロット
0:17:26	いうことその辺はですねやっぱり一般的な話はもう通常のように、この事業の状況のように示して事業の 18 で、これはちょっと特別な場合なので、デフ予定不明を
0:17:41	こちら側で袋のがいいかなと私は考えてます。以上です。
0:17:49	規制庁の鈴木です。ちょっと
0:17:54	再確認したいことがあるんですが、
0:17:56	従来の表 14-19 ページの表っていうのは今協力は、先ほどのように 4 名数だと、正しい発生荷重のほうは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:07	地震だけじゃないものを含んでるんだから屋内屋外共通だということですが、一つ、そこで再確認したいのは、従来は地震荷重ですと、短期荷重扱いでここに書いてある許容荷重の 1.5 倍を
0:18:22	使って補給を出していると。
0:18:25	やはり地震荷重は短期荷重の扱いですからこの数字の 1.5 倍を実質使ってるけども、そしたらここにですね。
0:18:33	雪荷重とか風荷重とか、
0:18:35	入れた場合には、同じく短期荷重扱いとして理解していいですか。
0:18:44	そうですねあの地震謄本を変えるように感謝を合わせたものを使いますんで、合わせてここに示している。
0:18:53	最大共用過剰以下になるように、
0:18:57	しているということで、やっぱの 1.5 倍のお話でしたが、このまんま、今示している/Eがちょっと※2.5 倍した値なのかプロファイルのアプリなのか、例えば私今、
0:19:14	あれじゃなくて、
0:19:18	ふぐにはわからないんですけど、どっちのチェックといいなっていう業務を
0:19:24	ベンチャー企業を基本に立ち返る。
0:19:26	ケミカルアンカ安重 16 戸
0:19:32	これから、それで
0:19:36	BWRかま関連分に関しましてはですね、長期の許可上 1.5 倍したパイがもうそのまま外来許可上として書いてございまして、
0:19:51	今度そのここに書いてる会場に
0:19:56	ならない株主もあと何でしたっけ、積雪も含めてならないように設計オフということでございます。
0:20:13	規制庁スズキです。ちょっとですね今の御説明だけではちょっと再確認したいことがありますので、このケミカルアンカの施工要領書とかそういう基準のようなものが多分、
0:20:25	お持ちだと思っんで、それも含めて現地調査のほうですね、再確認させていただければと思います。
0:20:35	はいカンパニーのキタニでございます。承知しました。
0:20:40	規制庁スズキですが、トレセンついでにちょっともう 1 点だけ
0:20:46	コメントしたいのがあるんですが、14-16 ページ。
0:20:51	先ほどのコメントと共通する考え方なんですが、14-16 ページの表 1 にですね、後打ちアンカーを使っているのはこういうのがありますよと、こん中に津波

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	監視カメラだけが屋外であとはみんな多くないですよって、そこまではよろしいんですけど。
0:21:10	そういう屋内屋外の違いはわかるんですが、これも
0:21:15	応力を出すときの許容値とかですね、そういう或いは発生荷重のほうの扱いがどこにもその使い分けのことがコメントしてないんで。
0:21:25	ここもですね、屋内屋外の違いの加えて用地の使い分けについても、
0:21:34	一行 2 行ですね。
0:21:35	中給ていただいたほうが誤開しなくていいと思いますんで、それは今後、少し御検討いただければと思います。
0:21:45	関西電力のキタニでございます。承知いたしました。
0:21:51	鈴木です。以上です。
0:21:57	そうしましたらコメント整理表の上のほうから、
0:22:02	人と部分やっぱほうがよろしいでしょうか。
0:22:15	ですね別紙が何か。
0:22:18	木曜だったらなんで。
0:22:23	一つずついきますから、一つお願いします。
0:22:27	わかりました。
0:22:29	押ししました回答日が 8 本日 8 月 31 になっているものの上から順番にやっています。
0:22:37	すみません。すいません。静聴開かれます。
0:22:40	えっとですね、コメント管理表の中で、
0:22:43	6 月 10 日提出済み。
0:22:47	ていうところ。
0:22:49	も含めてくださいますか。
0:22:53	等の説明は多分ないなかつたと思うんですけども。
0:22:58	だから、
0:23:02	8 月。24 日の提出予定っていうところと、
0:23:05	2021 年 6 月 10 日提出済みと書いてあるもの。
0:23:11	これ確か説明が多分してないと思いますので、
0:23:15	ここもあわせてお願いします。
0:23:21	本日 SA している本日は内部面辞職機能かベースシェア PAR の 8 月 31 日になって今これ多分、ご要望のやっぱ回答できると思います。ではあの上から順番に説明いたします。
0:23:37	前の 1-2 でございますけども、
0:23:40	こちらですねというコメントをいただいたほうが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:47	ベクトルの部会適當時刻歴解析の使い分けについて追記することと、19-3の1次冷却材そこらも見ながらもいずれ20億ベース上級の1ページを
0:24:01	ご覧ください。
0:24:08	こちらの以前で船のスペクトルモーダルと時刻歴解析とあと神戸と答弁崩落の説明ということでマトリックス出て説明をさしていただいたんですけども。
0:24:19	スペクトルモーダルと時刻歴を使い分けをどうしてるのか書いてないということで、河成も産業界でございます。
0:24:28	スペクトルモーダル解析と時刻歴解析の深い言い訳については基本的に時刻歴解析は灰をしないこととしていますけども、大飯3号炉の新規制工事りんにおいてファイア親ゆをされたものについてのみ使用すると。
0:24:45	はいでございます。基本はもうスペクトルモーダル解析を使いますよということを追記いたしました。
0:24:56	それともう1問伺いたコメントがですね10秒の5ページございまして、
0:25:04	中計があり、
0:25:06	こちら条件は3ページございまして、こちらの1一定冗れ拾われ延べの1次冷却材管の評価のところ、HotLegからコールドレグに関しては時刻歴機械的になっているのはいっばいせばコミットがスペクトルモーダルとなぜ違うのかを
0:25:24	説明することといただいたコメントをいただいて備考に書いています。このホット例を以下密封に関しては/A建屋ループ連成解析モデルの構成を入れさせていただきますので、時刻理解できれ直接求まります。
0:25:40	一方ですねこの管台の評価に関しましては考えからの分岐セールのほうの配管のチェックとモーダル解析、それからやるCAPEを僕の荷重を用いて評価をしているので、スペクトルモーダル解析になっているということをちょっと備考のほうで追記してございます。
0:25:59	以上です。
0:26:11	規制庁すれすれのところの点についてですね再確認したいんですが、
0:26:17	ちょっとこれの説明をお聞きしてですね、ちょっと思ったのは、時刻歴解析がですね、新規性。
0:26:27	中で使われているからだっていう、そういう手続き論的な説明を今書いたんですけども、こちらとしては、いう要求してたのはですね、もっと技術的な技術論的な御説明をですね、ちょっと
0:26:42	要求してたつもりなんですね。なぜならば、例えばですね、向こう以前の平成29年5月に関西電力さんが工認の中で説明された中にですね、既工認のその手法の相違点の整理っていう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:57	タイトルのものがあるってその中で見ますとですね。
0:27:01	例えばスペクトルモーダル解析を適用することを基本としているが、これこれの場合は時刻歴応答解析を適用するという中にですね、例えば建屋ループ連成解析モデルに対する場合といったようなことも、
0:27:16	説明されてるんですね、そういう今回もそれが当てはまるんじゃないかなと思って、そういう技術論的な説明をちょっとここにですね、もう少し記載を追加して充実していただければと思うんですが、
0:27:34	ツカベ部のキタニでございます。わかりました。ちょっとここ2のほう確認してと同じようにかけるかも検討した上で期待したいと思います。以上です。
0:27:52	はい。
0:27:57	次お願いします。
0:27:59	関西電力キタニさんすいません。ですね、回答できる案云々って言わなくて、基本的に班員色塗ってないところ、
0:28:10	がいわゆる
0:28:13	田といいますか、残ってるのかなと認識してますもってナンバーをナンバーでちょっとNo.何ぼっていう、
0:28:22	すみません。とですね、ここは依頼塗ってない部分っていうのは補正町とか、そういったものも含めてるんで述べられ、6月10日の提出済みっていうところと、あと8月24日の提出予定というところを説明いただければ結構です。
0:28:40	ミヤモト失礼しました、ちょっとお待ちいただけますか。
0:28:43	はい。ではキタニさんお願いします。
0:28:47	はいフォローします。次の6-1aをご覧ください。
0:28:52	こちらで内容についてはもうほぼCAPE恵みなんですけども、コメント対応の下部に書いてます通り評価書の法制を伴うようなものが言わへん評価書のほうへ方針を書くということで、
0:29:09	また以降のところを御説明いたします。耐震安全性評価配管の配管サポート等の利用は例の許容値及び応力比を見直すということでP5-4をご覧ください。
0:29:29	こちらも内容的には何回も説明してますので、5-4の一番下の四角に書いた氷レベルに評価書の
0:29:41	補正方針としてこのように補正する予定ですということを書いたものでございます。
0:29:48	以上です。
0:29:52	いいです。
0:29:54	はい。規制庁の山形さん。これはわかりました。次お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:00	受けましたが、7-1 でございますが、こちらも今のと同じような感じですね内容を説明しているんですけども 12-2 ページをご覧ください
0:30:13	次に 2 次、
0:30:18	こちらにもですねこれもしだからこそ審査会合で御説明しましたけども、いただいたコメントを受けて 0°C トラフ上へもともと重要度の高いグラフだけを書いてたんですけども、シェークラップの中で能力に最大の結果についても、
0:30:36	このように区域フロー予定でパツということで評価書の補正方針というのを記載してございます。以上です。
0:30:59	規制庁スズキです。今 7 の一番の御説明ですよ。
0:31:07	はい。べくえとですね、ここにちょっとお願いっていうかリクエストなんですが、この C クラスの結果を追加していただいたのはわかるんですが、この外挿目のほうですね、ついてないんですね。
0:31:21	C クラスの評価点の範囲染め
0:31:25	これ今後の行う現地調査のときのどこの範囲っていうときにも関係してくるんで、敗訴水があるともう少し判断しやすかったんですが、ちょっとそれがなかったために少しちょっと
0:31:40	検討した点がございまして、ここにあつて、C クラス主蒸気主給水の I 数名についてですね C クラスの分も追加していただけないでしょうか。
0:31:55	拝承いたしました。ちょっとロータ地形のときにはこの愛顧メグも占めてるようにした上で補正も次のヒアリング時には、
0:32:09	追記をグラフ以下をふうようにしたいと思います。以上です。
0:32:14	規制庁スズキよろしく申し上げます。
0:32:21	そうしましたら等はつきりまして 8-2 に参ります。
0:32:26	8-2 は、
0:32:31	こちら別紙-12 でございます、時ベースで 02 の範囲を 5 ページをご覧ください。
0:32:45	こちらですねジョイベンコメントを受けまして、これ水平 2 方向の評価の仕方にステップ 1 から 3 まで順を追って簡単な場にやっていますということで、さらに公認でどんなことを書いてあるかお示しなさいということで、この A1 から 1、
0:33:05	2012 の場合に 5 ページの①に 3 下のものを追記してきましたので、この①に賛成の弁閉も説明しましたけども、工認の水平 1 方向の評価でこういった評価をしているか。
0:33:22	というのが一番にはまあまあの種類がございまして、それはあれ 1 とか 2 の三番でやっている場合は、名簿ステップ先ほど説明された 2 方向のやり方ス

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	テップ 1 から 3 まで使える場合と使えない場合があるという御説明をいたしましたところ、
0:33:41	グループステップ 1 からファンはどういう考え方で選ぶかということで、これ一番上のところにですね容易に評価がかなり同じように、店舗 123 というのを使っていますというのを追記してございます。
0:33:59	で、もう一つはですね今回の主蒸気系統配管の評価っていうのは、
0:34:06	前の 2 ですね 1 に考えようと②の評価を一応ここでやっているということで、②の場合はSTEP1 とステップ 2 というのは、比較的カンパニーできるけど、STEP3 を使うときにはもう簡便にやり直さなければならないと。
0:34:24	いう御説明弁閉いたしました。跨ぎ③を並べてかないかというのを機会しろというコメントをいただきますので、
0:34:34	主蒸気系統配管の評価に取り丸二つそれでは③の設備には該当政府にしてませんか。
0:34:47	改めてALPHAにより府営一応冒頭委員長交互の込みアベおかげ結果を算出をしても、水平 2 方向と鉛直方向の組み合わせによる影響評価を行って有効に活用できないため、使用しませんよと、③を今からやり直しても意味がないということ
0:35:06	廃棄してございます。
0:35:08	以上です。
0:35:19	すみません。
0:35:21	これは 14-23 ページも同じような
0:35:25	同様の 23 ページですが、
0:35:32	こちらはですね同じようにステップを 1 に説明があるので、容易に評価が可能な状にというのを同じように追記してございます以上です。
0:35:50	規制庁宮本です。はい。
0:35:54	8-2-7 ページに整備千葉さんところはいわかりました。
0:35:59	では次お願いします。
0:36:03	はい、受けまして 8-3 に行きます。
0:36:08	こちらは、
0:36:12	うん。
0:36:13	こちらがあれば飛べ以上 1-16 ページや 11-6 ページから
0:36:20	ご覧やっぱり
0:36:29	これここは主蒸気発生器のシェアしながら、蒸気発生器の手引きがこの評価でございまして、まず一つ目承っはこの負

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:41	水平 2 方向の評価、こちらもやっているんですけども、どうやってやってるのか、先ほどのFEP123 でいうと、三番を使っていると、今回あのこれは一つしか評価がないのでは 123 部下部に
0:36:57	三番と同じような 11-6 ページにツカベものに示しますように
0:37:04	各評価用荷重をy行うか 800 ありますと、Y5 行わせて別途行わせ過剰FRSステージ酸素しているということで、やり方評価の仕方っていうのをコメントいただいて追記してます。
0:37:21	この絵等ですね 11-7 ページにいていただきまして、
0:37:26	こちらで来工認どの表関東、
0:37:32	そい影響範囲が見受けられるということで、コメントはこの際の説明をしろということでここを説明してます。
0:37:43	こちらですが 1-7 ページの表 11-4、
0:37:48	こちらネポンに府営 2 方向の評価で何が違うかっていうのを整理してごさいます。
0:37:55	1 項項と 2 方向って書いて上限に書きまして発生応力許容力、これエコー経年評価と工認の場合というのを一覧でわかるように示しているのが表 11-4 でございます。
0:38:12	本ちょっと違い多い(1)と(2)で説明しているんですけども、パンフレットに(1)っていうのは、水平 2 方向の発生応力をですね、これから何百号棟 385MPa違っています。
0:38:28	で、こちらの支圧応力の評価でふんレイヤーの一杯この現これも古い
0:38:38	それから花ヒンジ部の摩耗による断面の減少による評価なんですけど試薬の評価っていうのは、その断面の現象が影響を受けないので、本来同じ委員なるなりますよということで、
0:38:52	それなのになぜ違うのかというコメントだと受けとめてますので、その説明を書い括弧 1 にしてごさいますけども、これ 2 方向の評価ですので、ステップ 123 のやり方がありまして、後任の方ではですねFDELグランド言うと 2 番のやり方をやっていました。
0:39:14	だから保守的に方法で当行の発生荷重とY方向別途行い発生過剰FRSとして求めているってことで別途御が下部多様化になっていたと。これに対してね高経年化技術評価では先ほど説明さステップで言うと三番をもやっていますよと。
0:39:34	XIWebそれぞれのrRFをやってそれによって発生応力が違っているというのが(1)の説明でございます。
0:39:45	もう一つ(2)REFが一今度許容値側の違い。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:49	スズキさんが御指摘されておりましたので、それがデフレ方向に方向と込もうデフレこれは、
0:39:59	高経年化評価のほうが426MPaに対して工認は387MPaですということですので。違っていましたんで、こちら違いの説明を過去にしていますけども、
0:40:13	当庫工事計画認可ではFa状態の温度としても高温のデフレCV内の架構になった185°を考慮して、許容値を使って算出して吹けばも口径な技術評価では従来通り通常の90°上算出していたということがございます。
0:40:33	で、これにつきましてはですね、高経年化のほうが若干余地がチーフ大きめにあるということでの影響評価っていうのを11-8ページの表でやっています、
0:40:52	11-5号の表と11-6の表ですね11-5はですね一方向の評価に返して先ほど言ったような今度FHの100校のときの許容値を使って、
0:41:07	評価したらどうなるかという影響評価をさせていただきます。こちらの蒸気発生器支持脚だけではなくて、もう一つ、1次冷却アイコンこの支持脚もうあの評価書の中で評価していますので、両方ともでね
0:41:23	影響評価をさせていただきます。
0:41:25	協力応答力比のところ、括弧内に書いているのと過去から出しているものがありますが、括弧内に入っているのは高経年化技術評価の値で影響評価はその括弧から外れたものですが、こちらどちらにしても力は、
0:41:41	一応も超えることはないというものを示してさせていただきます。正常1-6兆71のは不平2方向のほうですけどこちら蒸気発生器の側の支持脚だけをやってますんで、こちらもペネ同じように、
0:41:58	今日地方を
0:42:02	もう二倍しても、問題ないというものを示してさせていただきます。
0:42:10	以上で以上でございます。
0:42:19	はい規制庁宮本です。はい。No.8の3はいわかりました。次をお願いします。
0:42:28	B-2。
0:42:31	2FEP明いたします。
0:42:34	こちらは内別紙の4-4-10ページをご覧ください。
0:42:40	はい。
0:42:53	はい。
0:42:56	はい。
0:42:56	この亀裂/ペーパー4の2番であります4-10ページをご覧ください。
0:43:04	で、こちらですね僕は、
0:43:08	これも時々いま地方し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	今日の2以降の2ですけど、今日の1例ですね、こちらが連動していくような位置の場合も含めて書いてございます。
0:43:22	今日の1でご指摘を受けたがA4の10ページにある直井なおより前のところで下から悩ま行目ですか。
0:43:35	8行目のなおより前のところは、前回あのコメント整理表のところの回答欄だけで説明したことをちゃんとご説明資料に起こしてきたものでございます。
0:43:49	これですね
0:43:51	もう1回福島党首初期遅い系統配管とか経過時間とか輸血プレー間で公認等比較できるところでも違っているものが前あのUF値が違っているところの説明を白くしなさいということで、
0:44:08	よく工認と照らし合わせたところですね加圧器スプレイ配管の
0:44:14	だけですね同じ接点で高経年化技術評価等、工認の評価のUF値が出ていくということで触れ往々一覧に示します。266っていうのが登場運転時の辺りと地震時両方が出てまして、
0:44:31	それぞれ書いてますんで180に関しては地震時の青梅パック書いてますので、予定マーカーの地震時に監視まさに炉580も聴取別途桁の処理不は違いますがUF値を同じ値になってます。
0:44:50	ただね登場運転時が若干違うので、この理由を示していないところで①と②っていうのをてっ目下もですね設定2266においての違いですね。
0:45:05	で、こちらの
0:45:08	当然運転員は①と②①の方はですね設計はべき計画解雇持っているので大成功経年化技術評価では各該当ベースとしては保守的に60年の運開フロー予測しているということ事止まるに関しては、
0:45:27	これ
0:45:30	マネージャーねってその評価をする時にいやの三次元梁モデルではなくてですねFEMモデルを使ったりしているので、そういったところでも違ってきますよという説明をいたしました。／記念附属機関からいただいたコメントが、
0:45:46	なお以下からですけども、別添266に関してはですね、
0:45:52	系内が技術評価の対象にならず配管のほうで設計建設規格による累積F0.017%搬出されていまして、これ費等、
0:46:06	それに対して工認知事へ船が0.297顎等比較してない物理φということで、それはなぜかというのがコメントでございましたので、その場合ですね先ほどの①と②のうちですね両方ともこれはねってそう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:24	考慮していませんので、①が外へのそのφが生まれた理由ですということで、①なので時深く開封とは高経年化技術評価で評価したときのこの世国会部等の設計の株価配賦。
0:46:41	これを比較したものっていうのを4-11に示してございます。
0:46:46	ここに指名停止等レベルでかなりやはり設計が保守的な回復を使ってまして、走時ページ。
0:46:57	開封が大きいということで、これが先ほどの0.017通りに既往7号の差が生まれればINSSということで、開封の比較を示しております。以上です。
0:47:16	はい。規制庁ミヤモトですはい。これについての特段の意見確認質問確認等はございませんので次お願いします。
0:47:28	復配電力のキタニに移行しましたら10-2のほうに参ります。
0:47:34	こちらは
0:47:37	週2の分布な病人の
0:47:41	27をご覧ください。
0:47:52	調べ受けたコメントはですね
0:47:56	この地震時とかの表の中にあります。グラフX-X今入ってございますけども、
0:48:05	弁閉まで片方しか書いてございませんでしたので、ね両方ともアポラフ画報マイナス側を記載してきているものです。
0:48:17	それと一番下の応力の方もですね
0:48:22	意見まだ大きいほうの辺りだけを変えてたんですけども、先ほどのトラフマイナス。
0:48:29	2ヶ方の値を括弧内で締めふうという修正をしてございます。
0:48:36	アポで
0:48:38	この範囲もですねコンター分ところはちょっと審査会合のときに御指摘いただいたので、
0:48:46	踏めた得るようにしてございます。
0:48:50	違うのは、あと一番上の
0:48:53	三次元梁モデル解析で得られたe.の火事をFEMモデルによる抑制ということで、
0:49:00	この荷重幅もFEMはりモデルの結果と繋がってっていうのも追記してございます。
0:49:10	12-0動く28も同じように、
0:49:16	調整してございます。
0:49:20	あとは中国人の3012の管理表と40
0:49:26	ですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:31	こちらでデフレ方向は良好に記載したというのは同じなんですけども、ちょっと名簿のコメント 12-30 数でいただいてまして、そちらで
0:49:46	ねえ。投票でよろしい点の開示をこちらのYの方向でしか数字が出てないということで、その理由を機械振るということでコメントいただきました。
0:50:00	プレーを上 ⁰ の 4、° 4 行で示してますけども、三次元梁モデル解析で得られた B. C. の解消をFEM出るモデルに入力する。
0:50:12	なおこれ動きがあるとピアノb. でなくてC. でございます。C. の過剰として、自重によるI方向荷重のみ発生している理由はc. にトリガーが設置されており、
0:50:28	スプリングハンガーでな事情をだけを指示するということで理事長のときにY方向だけに荷重が出ているということを追記してございます。
0:50:40	あと修正点は先ほどと同じようなもので、次のページ、
0:50:46	F、こちらはもうこれ終わってもできる。
0:50:52	これも同じように、2. とc. 間違っておりますが、
0:50:57	これはもう
0:50:59	同じような修正をしています。以上です。
0:51:07	規制庁の平賀です。FDMの詳細解析に関わる記載の充実は了解しました。ちょっと1点だけ別のところで確認させてください。12-38 ページの
0:51:22	応力集中係数。
0:51:24	のところの出典なんですけども。
0:51:30	ここ塾の出典なんですけども、ここ設計建設規格かなっていうふうに我々想定してたんですけども、これに対する見解っていうのは何かありますか。
0:51:44	すみませんセトの芝生で申し訳ございません、ここのコメントを受けて追記したところでございますが、これからの2次系のほうでございましてこれは原子力の規格ではなくて、加力の口頭の
0:52:01	あのルールに従って設計なり評価なりしてますんで、元となる掛かん生⑥を期待してございます。
0:52:14	設計建設規格のほうはkVしないということですか。
0:52:20	設計建設規格でも同じような応力セーフというのがありますけどもここ加力の12ペール2次系配管に関しては、こちらのほうに繋がってやっているということでございます。
0:52:40	規制庁ヒダカです。理解しました。
0:52:49	そうしましたら、よろしければ13-3のほうに言ったらさせていただきます。
0:52:59	それはさ。
0:53:00	これはですね12-30ページをご覧くださいっば
0:53:06	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:10	順子様に、
0:53:17	これはてる姿で 12-30 ページでございます。こちらのTPMファンの評価の結果を弁閉までちょっとたりした形で書いていたんですけども、風化のコメントです。あの減肉がある場合とない場合はどう違うのかというのと、
0:53:37	あと前ビデオ地震等内アップでどれくらい聞き方が違うかというの見えるようにして 1/C というコメントをいただいたままで、これがわかるような表に修正してきたものでございます。
0:53:52	内Uptoの部分があえて 1 協力何ぼかっていうの通り譲渡自身で幾らかというふうに分けてありますし減肉ばかりとなしの場合にはこうですというのがわかるようにしてございます。
0:54:08	それとですねあともう 1 本層は特に併用を評価して安全上ぶれ資料の修正がしてございませんけども、実情に 22-31 ページで、
0:54:23	コメントを受けているのがですね益規模の支持間隔の低減グラフね真ん中の上の図に書いてるもん希望の支持間隔の低減gってのが、
0:54:39	今回違反をだけ違うのではないかという御指摘を受けまして、ちょっと確認したところですねどうも県政と自負に大飯 3 号の建設時に分岐管の支持間隔の表が今まで使ってる様がカードに御出席だということで、
0:54:59	経理合理化されてまして、答弁工認でも説明がされてます。
0:55:05	そういうことで大飯 3 号に関しては、オオムラ高齢設計されてここで、
0:55:11	これが溜まっているということになってございます以上です。
0:55:27	規制庁スズキです。ちょっとこれは
0:55:31	繰り返しになるんですが、前回もコメントしたんですが
0:55:35	ええですね、手がですね、じゃあ過ぎて見えないと。
0:55:40	書いてあるのはわかるんだけど横軸と縦軸がですね。
0:55:44	見えないと、だからその部分だけをですねこの図だけですね、添付科学科にして 4 横にもっと拡大してですね、少なくとも見えて見てわかるような
0:55:57	人していただきたいなというふうに思います。また、同時に現地調査のときにですね。もしこれがもう件数とかですね、そういう資料が元図があるのであれば、それも拝見したいなというふうに思います。
0:56:14	はい関西電力のこのキタニです。ちょっと弁閉少し綺麗にはしているんですけども見に拡大性も見えないということでしたらちょっとお薬を A4 横にしたりしたいと思います。それから
0:56:31	現地調査べ倒壊部の後、工認等を持っていけるようにしたいと思います。以上です。
0:56:42	了解しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:49	いや、
0:56:50	次お願いします。
0:56:52	はい、わかりました。特に
0:56:55	17-2 に参ります。
0:56:58	こちらで面して 16 の 8
0:57:12	もちろんいただいたコメントが出てペインを購入性の評価で以遠浮上風土が解析モデルの評価条件を追記プールことということで、16-8 ページにあります 下線部のところですね
0:57:28	と制御棒駆動装置の地震応答解析のところは、CRDMおとし構造物の例塵 響性の二次元接点はモデルで減衰は 5%。
0:57:40	以下同じように炉内構造物の実施をとか適当燃料集合体の地震応答解析の ところにモデルルート現浮上負を併記する形で記載してございます。
0:57:56	以上です。
0:58:03	はい、宮本です。特に質問確認等はございませんので、次お願いします。
0:58:09	昨年キタニとしましては 19-2 前に今、こちらはもう単純な誤記だけでPRA上 4-22 ページにありますように、Pa合意
0:58:24	がまちがPDFが間違ってたのが低い部位に修正をしてございます。以上で す。
0:58:32	はい、わかりました。では次お願いします。
0:58:36	はい。そうしましたら 20-1 に参ります。
0:58:40	こちらのほうですがこれは 27 ページでは、まずちょっと、
0:58:47	27 ページをご覧ください。
0:58:53	27 ページの可搬Mのところですけどもこの新法人は施設の耐震安全性評 価のところ、先ほどからある海水ポンプ室の開監視カメラが屋外であるにも 係ら部。
0:59:09	ここはね、抗力で経年劣化事象がないというふうに記載してたんで、そこはち よっと間違いだったのであそこが海水ポンプ室の監視カメラがありは抗力で懸 念時価事象として一つ挙がってますよと。
0:59:26	これについては減肉を考慮して評価をして問題ないことを確認しているとい うのを追記してございます。修正しているということで、
0:59:36	それと、その修正と
0:59:42	後ですね 14-19 ページ、これは空きほどから説明していき、硫安の 19 は、 これもあの評価書の修正方針ということで方針を下からきちんと補足説明資 料に追記してきたものでございます。これは先ほど、
1:00:01	連動性説明しているところです。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:07	はい。規制庁に乗せ先ほど説明いただいたところと重複してるところもありますのではい、わかりました。
1:00:16	そしたら
1:00:18	次か。
1:00:25	次お願いします。スズキ危惧もさっきと説明いただいたのかな。
1:00:34	ほかの中で電力の期間に入れる等で先ほど説明いたしましたので 27-1 の尾に移らせていただきます。はい、わかりました。お願いします。
1:00:49	こちらは運営等に 10-2 ページの 3 ページ。
1:01:01	こちらのほうで内容的には面会のヒアリングで説明をしまして、ご理解いただいているところですけども、この表のですねグラフ表ですね、2 種類あるけどそれどっかから引用してきているかを追記したほうが良いということで、
1:01:18	上の 6 事象構えにつきましては、この表は 6 事象か前のよう箇所である高浜ぶりの 3 号炉 30 年目の小児の 1 から取ってきてマットで下の 6 事象会合のほうはですねこれはもう当該大飯 3、
1:01:35	大きく、昔の表 1 ページ。
1:01:40	から来べきテーマというのを追記してございます。これ 2 条の 3 ページも同じように改定後、
1:01:47	ございます。
1:01:49	以上です。
1:01:52	ミヤモトです。はい。
1:01:55	わかりました提案を共通事項。
1:01:58	向こうの追記っていうのは、確認をしてますけれども、ちょっと今日そこを見る担当大間のものが全員出席しているわけではないので、これはまた共通事項の説明のときに改めて説明いただければと思います。そこは趣旨はぜ。
1:02:14	これに関するヒアリングのときに、説明の趣旨をお伝えした上で管理されているということはわかってますが、共通事項のところでもう一度お願いいたします。海進ところは評価わかりました。また次お願いします。
1:02:32	お願いしたとしましたら、28-1。
1:02:36	1 に参ります。こちらはですね別紙 15 ですので、
1:02:43	15-11 ページをご覧が
1:02:50	用意して、
1:02:55	こちらは先ほど等ページは同じなんですけど上の表 1 のところで、これ Fa2 方向の主蒸気逃がし弁の括弧内学会ですねこれ減肉を考慮しないと工認時の敗も喫水提起しなさいということで、
1:03:14	してきたものでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:17	あと、
1:03:18	それですねもう一つなおで書いてます通り府営に 5 項にこれVEGAしか公認もやっていないという説明をさせていただきましたが、鉛直をししない理由も簡単にフェアなofaに横坑による弁の鉛直方向への
1:03:35	方向の応答への影響は小さいため、評価実施していないということで公認もは高経年もやり、やってませんと、水平載荷方向だけ。
1:03:46	水平のにお金相当の不応答が府営側という意味でございますが、府だけを期待しているというのを追記して派遣で答弁にちょっと括弧内で失敗してはきたんのFAの府営 2 方向のの括弧内除塩参事というのはですね。
1:04:05	これ主蒸気逃がし弁としては工認にはどこにも載ってなくて工認は水平 2 方向を評価したときに、どう過圧器逃がし弁が逆転して大きくなっている加圧器逃がし弁の値が載ってますんで。
1:04:22	これはね船が主蒸気逃がし弁の辺りを計算さものをに入れてございますので、だからちょっと括弧内のペットののがですね今書いてますが、括弧内が配管に現に広報提示ない場合の評価結果ということで括弧工認報告説明資料等と
1:04:41	ということで、ちょっと 7.65Gにしましては工認から引っ張ってきてるんだけど 10.3Dというのはそうではなくて配下に現にこう想定しない場合の評価結果ということでちょっと説明を今までと変えてございます。以上です。
1:05:10	はい。わかりました。
1:05:13	特段質問確認事項ありませんので続きお願いします 29-1 になりますか、お願いします。
1:05:25	赤い伝播 200 しましたように 19-1 ですけれども、別紙需要 5-4 ページ中央の 4 ページ目をご覧ください。
1:05:37	こちらでね主蒸気安全弁の
1:05:42	象限面計 20 台あるんですけども、工認の内容の面と小口径の代表の弁が違っているという御指摘を受けてこれも
1:05:55	コメントというように分和室しましたけれども、の工認の代表弁等を口径の代表弁の、これは減肉考慮なしとありの結果を示すことというコメントいただきましたので、
1:06:11	これ置き換えしてございます。
1:06:14	だから好む 528Bというのが工認代表弁で現に考慮なしのときはこちら
1:06:21	11. フジが大きいので、こちらが代表になると逆に高経年化技術評価のほうは何号に 7aの方が現に効力があるときに、
1:06:32	大きくへのこちらのほうが大きくなったので御ちようだいをしてるということで、
1:06:38	パイを期待してきてございます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:45	はい。説明ありがとうございます。はい、こちらは特設質問等ございません。
1:06:50	じゃあ 30-1をお願いします。
1:06:55	はい、岩体でこのキタニでございます。
1:06:58	こちらはですねベースに耳をP-5 ページに、やっぱご覧不安、
1:07:10	ページで、
1:07:13	その上に※3 のところにございます通りこのお姉さんっていうのがコンクリートコード及び鉄骨構造物の一番右の
1:07:24	ところがですね、これはバックアップとしてございますので、ここです／下手コメント等が
1:07:35	コンクリート側のですね
1:07:40	コンクリートの補足説明書の別紙 7 でいろいろ耐震や地震のFを使った評価影響評価をやっているというので、そこと連動ひもづけをしないようにといった弁閉も説明済みでございます、ひもづけを何とかできないかということで、ここに出ています。
1:08:00	バックの理由として、
1:08:02	ここに書いてますの° 運転開始 60 年時点のコンクリートの予測中性子照射量が
1:08:11	影響労働低下がみられ始めるとされる範囲を
1:08:18	こっちは濃い超えるんですけども三つの評価をした結果、ほとんど影響がないということで、だからここバックにしているということがわかるように記載しています。それと同時に補足説明資料のコンクリートが別紙 7、
1:08:36	に詳しくは書いてますよというひもづけをしております。これも今の件を
1:08:43	そのようにというコメントを受けたので、このしてございます。以上です。
1:08:54	規制庁鈴木です。ちょっと質問させていただき、その一つの理由はですね。
1:09:00	耐震の評価書のですね、3-11-8 ページ。
1:09:08	ここに表の 3 ポツ 11-2 の 2 分の 1 てる表があるんですが、
1:09:14	ここにコンクリート構造物及び鉄骨構造物に想定される経年劣化事象と評価対象とする構造物というタイトルの表なんです、この上から三つ目のカラムにですね。
1:09:28	照射による強度低下っていうのがあって、1 次遮へい非合併になって、
1:09:34	その理由がですね、右端に記述評価の評価概要と概要だからすべてわかっきてないということかもしれませんが、ちょっとこれだけ言葉だけを中止するとですね。
1:09:46	ここの表の中ではですね。
1:09:49	表中中性子照射量

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:51	強度低下が生じないと判断される値よりも小さいと。
1:09:56	照射量がある程度小さいということがちょっとコール
1:10:00	読み取れるんですが、一方今のですね。
1:10:03	この補足。
1:10:05	コメントじゃない。
1:10:06	補足説明の 6 ページの※3 のところ見ると、
1:10:11	駐車料氷河強度低下が見られる初めとする。これこれのよりも超える範囲があると。
1:10:18	片方は、
1:10:20	人小さいという形で、片方あまり限定つきながら超えるのがあるんだと。
1:10:25	ちょっと 1 点
1:10:27	前提条件を見ないとですね。
1:10:30	逆のことを言ってる小さいか大きい方がいるっていう
1:10:34	そこの辺の
1:10:35	このままだと誤解を招くんじゃないかなあということも、このコメントの理由の一つなんですね、今の補足説明のほうに追加していただいたこと自体はよろしいかと思うんですが、
1:10:48	耐震の評価書の 3-11-8-4、
1:10:52	記載がですね、このままだと。
1:10:55	ちょっとそういう一見選定条件が見えないんで。
1:10:59	1 がプラスマイナス逆のことを言ってるようにもとれるんで、少しここは工夫してですね、
1:11:09	誤解の生じないようにしていただいたほうがいいかなと思います。
1:11:14	それからベント管が横のキタニでございます。確かにここは出て今まで全く閾値を超えない場合と少しだけ超える場合とあまり書き分けをしてございませんで、強度低下が生じないと判断される値ということで、
1:11:32	それを化物別紙 9 で説明したという方とも思っているんですけど、おっしゃる通りちょっとあの全く聞こえない場合と少しだけ超える少しでも超える場合と同じ幅ではちょっとよくないんじゃないかという御指摘と受けとめましてちょっと
1:11:50	これも評価書調整件いますけど、改革案を検討したいと思います。
1:11:57	規制庁鈴木ですよろしく申し上げます。
1:12:00	これ、
1:12:07	はい規制庁宮本店では
1:12:10	スズキか。
1:12:12	最後になるんですか。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:15	31 番お願いしますはいかが不明でこのキタニfとしまして、31 万でございますが、
1:12:23	こちらは 12-34 ページですが、
1:12:36	ウチヤマでの蒸気発生器ブローダウン系統の配管のところ、
1:12:47	それから個目にですね個目にCクラス範囲については、保守的にFクラスと同等の評価を行っている。
1:12:56	いうことで
1:13:00	どこ
1:13:01	一部Fと書いていますけれども、一部ですね隔離弁以降はCクラスなんだけども同じモデルに入っているんで、前膨らむ同じように扱っているということを追記してございます。これは他のプラントに合わせています。以上です。
1:13:24	規制庁スズキですね、記載されていること自体は、先行プラントと同じような書き方になってるんで理解しましたが、ちょっと
1:13:36	確認したいんですけども、例えば、
1:13:39	12-25 ページ、補足説明の 12-25 ページ。
1:13:44	ここにブローダウン系統配管の愛さ名の例が出てるんですけども。
1:13:50	先ほど来格納容器外にあるCVプロパン系統配管中のCVBDの内と外という、まず区分けがなされて外にある方の中にCクラスの範囲があるということですが、
1:14:06	例えばこの 12-25 ページの伊佐見図でいくと。
1:14:10	海のほうに加力とかクラスというかっていう、
1:14:14	ポンチ絵が私のほうから見えるんですが、
1:14:18	その辺との兼ね合いっていうのはCBDというのはどこでその分かれるのかと。
1:14:23	いうのは例えば口頭で説明されるとどうなりますでしょうか。
1:14:28	はい。
1:14:35	なぜカンパニーキタニでございます。Cvバウンダリーないと。
1:14:40	一平今、あれでこのグラフ 2 のほうでふえんで、加力設備のほうはCVバウンダリーではないと。
1:14:52	いうことで、
1:14:54	しらのCV外というこのペネの一部を 014、ペネば 5 日弁は出る事故が過去の容器でここから外に出てきておりまして、
1:15:07	これがぐっときましてこれ 2 で書いてるところまでがCVバウンダリー内なってます、それ以降は深部CVバウンダリーではない。
1:15:19	いうことでございます。
1:15:22	CVDBの外というのは、この火力設備ごとではないですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:32	大変よくFOBの個別Cv番辺り意外外
1:15:37	内はこれは国なんだけども外もモデルに含んでは、先ほどのFグラフがクラブ 2 ペーシCVバウンダリ内ですんで。
1:15:49	地域グラフオーダーか旅行政府及びデイ・シイ大飯湾だ理解です。それから加 カドイで書いてるところはCVバウンダリ外飯クラブなんだけども同じモデルに 込んでFとして評価しますよということで、
1:16:06	おっしゃることは理解しました薄くのこのI層面中の火力設備のところ、ここがそ のCクラス範囲っていうふうにみなしてるっていうのを本当はここに注記かなん かしていただいたほうが、
1:16:21	ストレートにわかりやすかったなと思います。
1:16:24	ちょっと今後の機会があれば、ここをですね。
1:16:28	一応日FPC修正していただければと思いますけれども、どうでしょうか。
1:16:34	右側が改善キタニでございますが、拝承いたしました。
1:16:49	規制庁の山本です関西電力の方から回答は以上になりますか。
1:16:55	すいません関西電力のキタニで今までコメントいただいたことに対して視野の CAPE回答をしていきましたけど一部で、
1:17:06	審査会合のパワーポイントでいただいたコメントで補足説明資料でも同じよう な合意がありましてこっち側も直していくか面もあり得ているんですけども、特 に
1:17:22	不明を今ないですかね
1:17:26	ちょっと説明したほうがいいのは一つだけ。
1:17:29	やっぱ延べ
1:17:31	それだけで不明発しいたしているか。
1:17:37	ちょっとはい。どの部分かわからなかったのでは、説明お願いします。
1:17:54	ちょっと、
1:17:57	いいと。
1:18:00	はい。
1:18:01	これからP30
1:18:07	しかし、
1:18:09	何か増えてんけど、これは手形BFこれこのページ、33 億
1:18:19	これ 33 の心P33 ですけども、当期政府管理方針として策定する事項として何 もないという説明心配を肥料で出しておりまして、その通りなんですけども。
1:18:35	なおP15 目 1 日目をご覧のサポート取替工事についてはこれに施工海であ ることから追加すべき新たな弁箱に該当しないということで、ノポイント書かな

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	くていいけども、補足説明資料には書いたほうがいいという御指摘があったので、
1:18:53	それをここに示してますので、それ以外に関してはもうか弁棒引いているところ、きょう説明している以外のところは
1:19:02	すべてパワーポイントの修正をして、連動したところになってございます。以上です。
1:19:10	はい。規制庁ミヤモトですわかりました。
1:19:13	これですべてになりますでしょうか。
1:19:18	今こちらの会場QA会議室からだけだったんで、フリー上ぶれ参加される方、
1:19:25	確認したいと思います。
1:19:28	名プレス参加されているツカベさん、何か質問等ございますでしょうか。
1:19:37	特にありません。
1:19:43	ウェブで参加しているフジカワさん、何かございますか。
1:19:47	いえ、特にありません。
1:20:24	すみません、規制庁の宮島です。御説明ありがとうございました。資料の4-14-11について御説明いただいたところなんですか、この次のページ開いても4の事業の11で、この後ちょっとページずれちゃっているんで、これはしっかり直していただいたほうがいいのかなと思っております。
1:20:44	以上です。
1:20:50	関西電力のキタニでセットほかにBとCというのを間違ってたところに合わせて修正させていただきます。ません。
1:21:01	はい。
1:21:02	特になければはいヒアリング言わせていただきますがよろしいでしょうか。
1:21:15	監査入力のほうがいいのか。はい。はい、結構です。はい。では本日のヒアリングはお話しいただきます。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。